

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	企画展事業	基本目標	美術館の充実						
担当課(局)・係	社会教育課(美術館)	総務学芸係	記入者	中野恵一	評価者	三嶋俊宏	開始年度	H22	年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください								
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)							

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 町内外を問わず、広く県民に対して 意図・目的 地域の芸術文化の発信地としての役割を果たす											
事業の内容	「辻野精一油彩画展、My Mona Lisa展、新収蔵記念大作館蔵品展、黒木洋高個展、鳥原茂之作品展」を開催。本年度は福祉をテーマに障がい者が描いたモナリザや車椅子で制作を行う黒木氏の個展の他、所蔵品を活用した油彩画展、大作展、洒脱なヨーロッパの風景を描いた作品を紹介。											
22年度決算額	80	千円	23年度予算額	115	千円	事業従事者数	H22 0.48	人	H23 0.48	人		
主な支出項目	借用謝礼	30	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	3,454 千円				
	消耗品費	36	千円	県支出金		千円	23年度人件費	3,426 千円				
	運送料	10	千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	100.0	%			
	宅配料	4	千円	一般財源	115	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名									
	補助交付団体		補助金要綱									
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額		円	終期	H25	年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等							
補助の割合		#N/A	%									
	繰越額	#N/A	円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
	2 観覧料収入	観覧料収入の増加で、企画展開催に係るコストを相殺する。
	3 企画展開催数	魅力ある企画展を定期的に開催する。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 広報活動回数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 関連イベント開催数	展覧会に伴う講演会等の開催
	3 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	観覧者数	目標値	5,000	5,500	5,000
		実績値	5,306	3,203	
		達成率	106.1%	58.2%	
	観覧料収入	目標値	227,400	227,400	227,400
		実績値	855,788	221,990	
		達成率	376.3%	97.6%	
企画展開催数	目標値	5	6	6	
	実績値	5	5		
	達成率	100.0%	83.3%		
活動指標	広報活動回数	目標値	10	12	12
		実績値	9	10	
		達成率	90.0%	83.3%	
	関連イベント開催数	目標値	5	6	6
		実績値	6	1	
		達成率	120.0%	16.7%	
取材依頼数	目標値	5	6	6	
	実績値	5	5		
	達成率	100.0%	83.3%		

事務事業名	企画展事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	-------	--------	------------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		13	-

※町補助をしている場合のみ記入

公益平性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)		0	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	美術館としての規模、職員数から考え、これ以上企画展数を増やすのは困難であるが(宮崎県立美術館はH22年度の企画展数は5回)、幅広い内容の作品を展示し、町民の美術に対する関心と、「心の豊かさ」を追求していきたい。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小
			廃止	縮小	現状維持	拡充
			コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎企画展が美術館運営の基礎となるので、少ない費用でより高い効果を上げてもらいたい。 ◎美術館の入館者増加を図るには、どのような企画で、経費はどう工面するのかなど毎年検討するのではなく、長期的計画を持って取り組むべきと考える。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	